

## 平成22年度第2回小牧市民大学こまきみらい塾運営委員会会議録

1 日 時：平成22年7月22日（木） 午後1時30分～午後3時30分

2 場 所：小牧市まなび創造館 研修室

### 3〔出席者〕

委 員：代田義勝、岩田良子、長野悦子、長屋浩子、林千代子、久野忠宣、蛭原雅代、  
徳田早苗

事務局：羽飼館長 増田館長補佐 他

### 〔欠席者〕

委 員：早矢仕彩子、宮崎康弘

### 〔傍聴者〕

なし

### 4 議 題

(1) 第Ⅱ期申込状況について

(2) 先進地視察について

(3) その他

・平成21年度みらい塾アンケート結果について

### 5 概 要

#### 〔委員長〕

第Ⅱ期の申込状況について、説明をお願いします。

#### 〔事務局〕

— 説明要旨：資料1 —

小牧市民大学こまきみらい塾第Ⅱ期申込状況について説明

#### 〔委 員〕

第Ⅱ期の申込が少ないようですが、なぜですか。

#### 〔委 員〕

受講生は講座の内容がわからないので、受講したいと思うような講座名にしてはどうですか。

#### 〔委 員〕

内容について、受講生がディスカッションをする講座ではなく、話を聞く講座の方が受講生が集まると思います。

#### 〔委 員〕

特定の世代向けの講座は、受講生が少なくなると思います。

#### 〔委 員〕

本当に必要だと思われる内容の講座は、受講生が少なくても開催し続ける意義があると思います。また、みらい塾で学ぶべき講座を「定期講座」とし、毎年繰り返し開催するこ

ともよい方法だと思います。曜日や時間帯を変えて開催すれば、都合がつかず受講できなかった塾生も受講できます。受講生の人数だけにとらわれるのではなく、よい内容の講座を開催することも大切だと思います。

〔委員〕

私は、受講生が少ない講座を受講しましたが、本当に面白く楽しい講座でした。より多くの方にこの講座を受講していただきたかったと思います。PRはどのようにしていますか。

〔委員〕

講座で、パート1・パート2のような講座も良いと思います。

〔事務局〕

講座名については、受講しやすい講座名となるよう工夫しておりますが、事務局だけで講座名を決定するものではなく、講師の意向もあり、講師の研究テーマに沿った講座名となります。

申込状況について、第Ⅰ期の申込が多く、Ⅱ期、Ⅲ期と申込が減少する傾向にあります。Ⅱ期は暑い時期に申込が始まりますので、季節の問題もあると思います。また、PRについて、広報に掲載依頼をするとともにチラシを作成し、市内関係施設に配布するなどPRに努めています。

〔委員長〕

先進地視察について説明をお願いします。

〔事務局〕

予算削減が市の方針であり、その中で先進地視察の予算が削減となりました。しかし、近隣の市町には市の行政バスを利用し視察に行くことが可能です。例えば、ウィルあいち、名古屋市男女平等参画推進センター「つながれっと NAGOYA」、名古屋市女性会館、岐阜市のハートフルスクエアは、視察可能です。

〔委員〕

他に行ける市はどこですか。

〔事務局〕

名古屋市、瀬戸市、尾張旭市、愛西市、津島市、日進市、岐阜市、羽島市、各務原市、美濃加茂市、可児市、多治見市などです。

〔委員長〕

以前、岐阜市のハートフルスクエアは運営委員会で視察に行ったことがありますが、運営委員も新委員がいますので、視察先は岐阜市でよろしいですか。

[委員]  
意義なし。

[委員長]  
平成21年度みらい塾アンケート結果について、説明をお願いします。

[事務局]  
— 説明要旨：資料2 —  
平成21年度みらい塾アンケート結果について説明

[委員]  
アンケートの回収率、出席率はどのくらいですか。

[事務局]  
— 追加資料 提出 —

[委員]  
遅刻・早退について質問します。私はみらい塾卒業生で、立派な卒業証書をいただきました。2時間の講座を受講して1単位とカウントし、100単位取得すると卒業です。しかし、遅刻してきて早退をする塾生がいます。例えば、2時間の講座のうち、1時間しか受講していない塾生でも1単位とカウントするので、遅刻・早退について事務局はどのように考えていますか。

[委員]  
講座開始前に、出席簿に出席印を押印し、講座終了後に点呼してはどうですか。

[委員]  
講座開始前に名札を配布し、講座終了後に名札を回収するのはどうですか。

[委員]  
遅刻・早退した塾生は、1単位とするのではなく、0.5単位とするのはどうですか。

[委員]  
毎回、遅刻・早退する塾生に対して、個別指導はどうですか。

[委員]  
学校などの教育現場ではないので、個別指導は難しいと思います。

[委員]  
塾生は卒業を目指しています。卒業に必要な単位を取得するために受講する講座もあるため、遅刻・早退する塾生もいると思います。

〔事務局〕

現在は、講座開始30分程度は職員がいますので、遅刻30分以内なら、1単位として認めています。講座終了15分前には再び講座教室内に入りますが、早退された塾生については把握していません。今後、遅刻・早退される塾生に対してのチェック機能を構築するよう努めます。

〔委員長〕

意見も出尽くしたようですので、事務局にお返しします。

〔事務局〕

ありがとうございました。第3回運営委員会は9月を予定しておりますのでよろしくお願ひします。これをもちまして第2回小牧市民大学こまきみらい塾運営委員会を終了します。長時間にわたりありがとうございました。